

(中国乙19)

# 猩紅熱 発生推移

## = 2025年3月度 =

発表:2025年4月21日 **国家NDPCA**

作成:2025年4月23日  
日中医療衛生情報研究所

## 乙19：猩紅熱

- ・日本では、1998年の法改正で、法定伝染病ではなくなった。
- ・現在、日本の感染症法ではA群溶血性レンサ球菌咽頭炎（溶連菌感染症）として診断・治療を行うことが大半だが、
- ・中国・香港・マカオ及び韓国では、法定報告感染症として指定されている。
- ・3月～6月、11月～翌年1月の二度のピーク期がある点は、手足口病と似ている。
- ・2011年を除けば、毎年増加傾向にあったが、
- ・2020年は、COVID-19の影響で激減したと言えよう。
- ・死に至ることは稀
- ・主に子供に多く見られるのはこれも手足口病に似ている

# 乙19：猩紅熱

15,000

中国の猩紅熱発症者数(月別)

12,000

2009年 2010年  
2011年 2012年  
2013年 2014年  
2015年 2016年  
2017年 2018年  
2019年 2020年  
2021年 2022年  
2023年 2024年  
2025年

9,000

6,000

3,000

0

1月

2月

3月

4月

5月

6月

7月

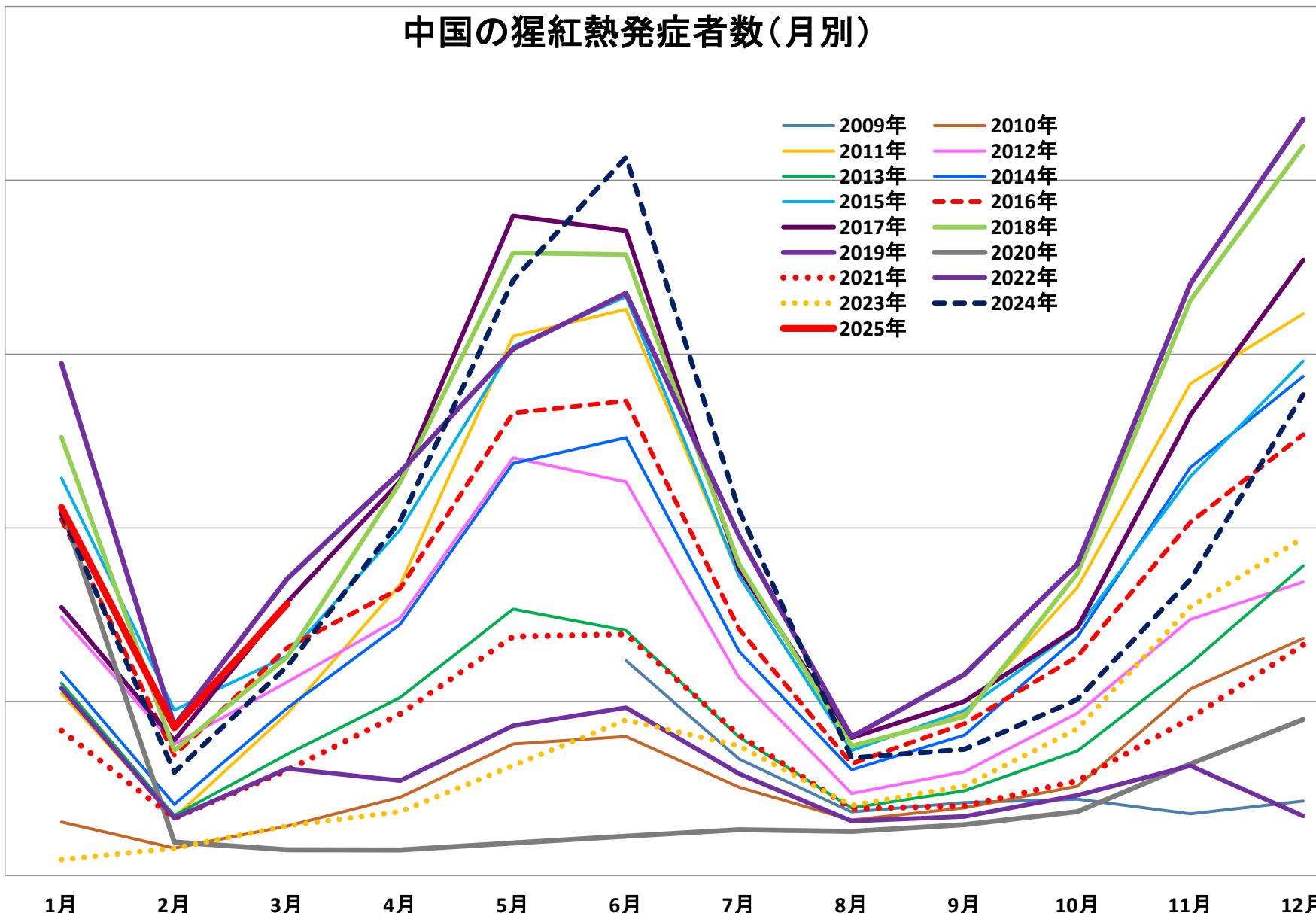
8月

9月

10月

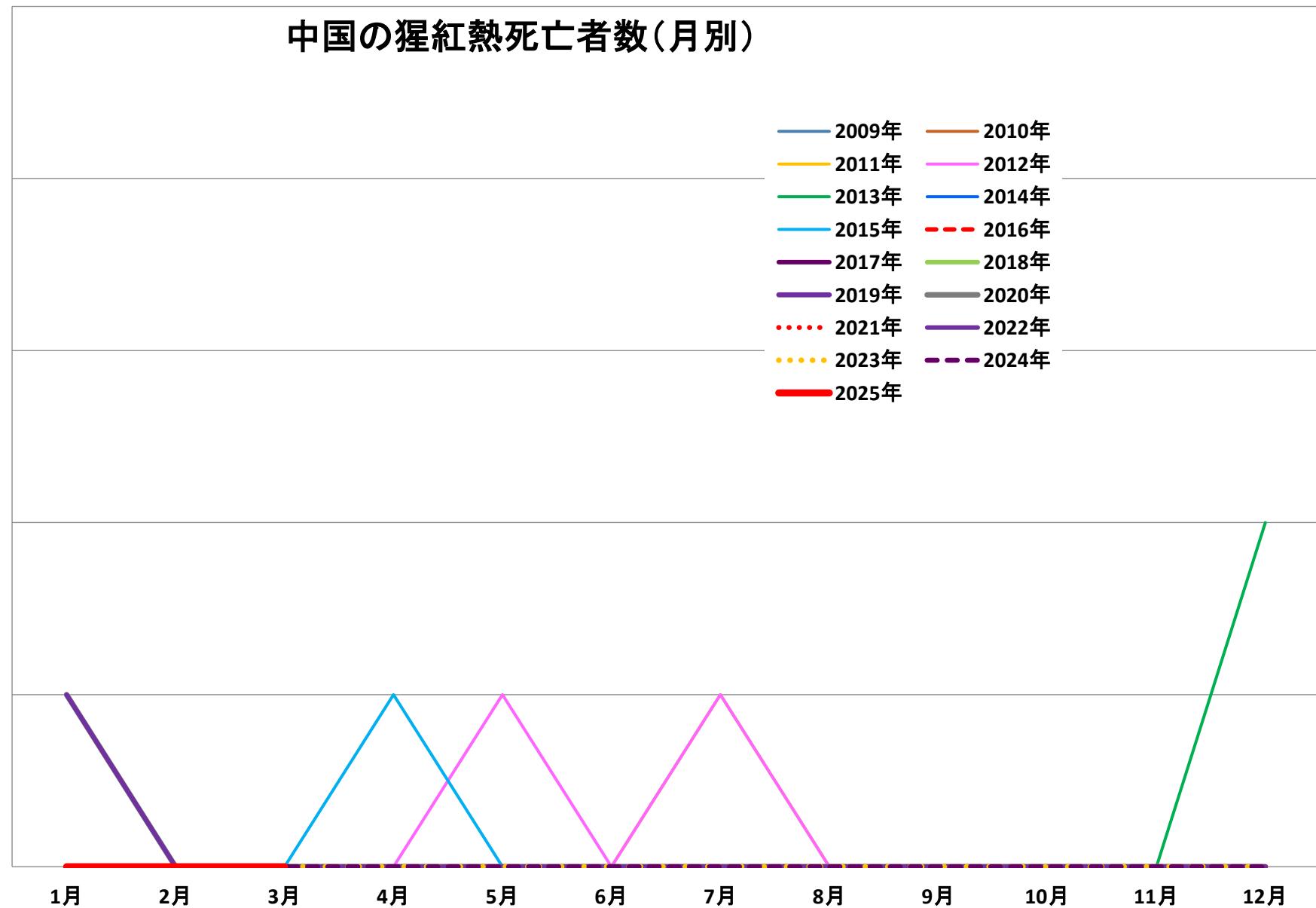
11月

12月

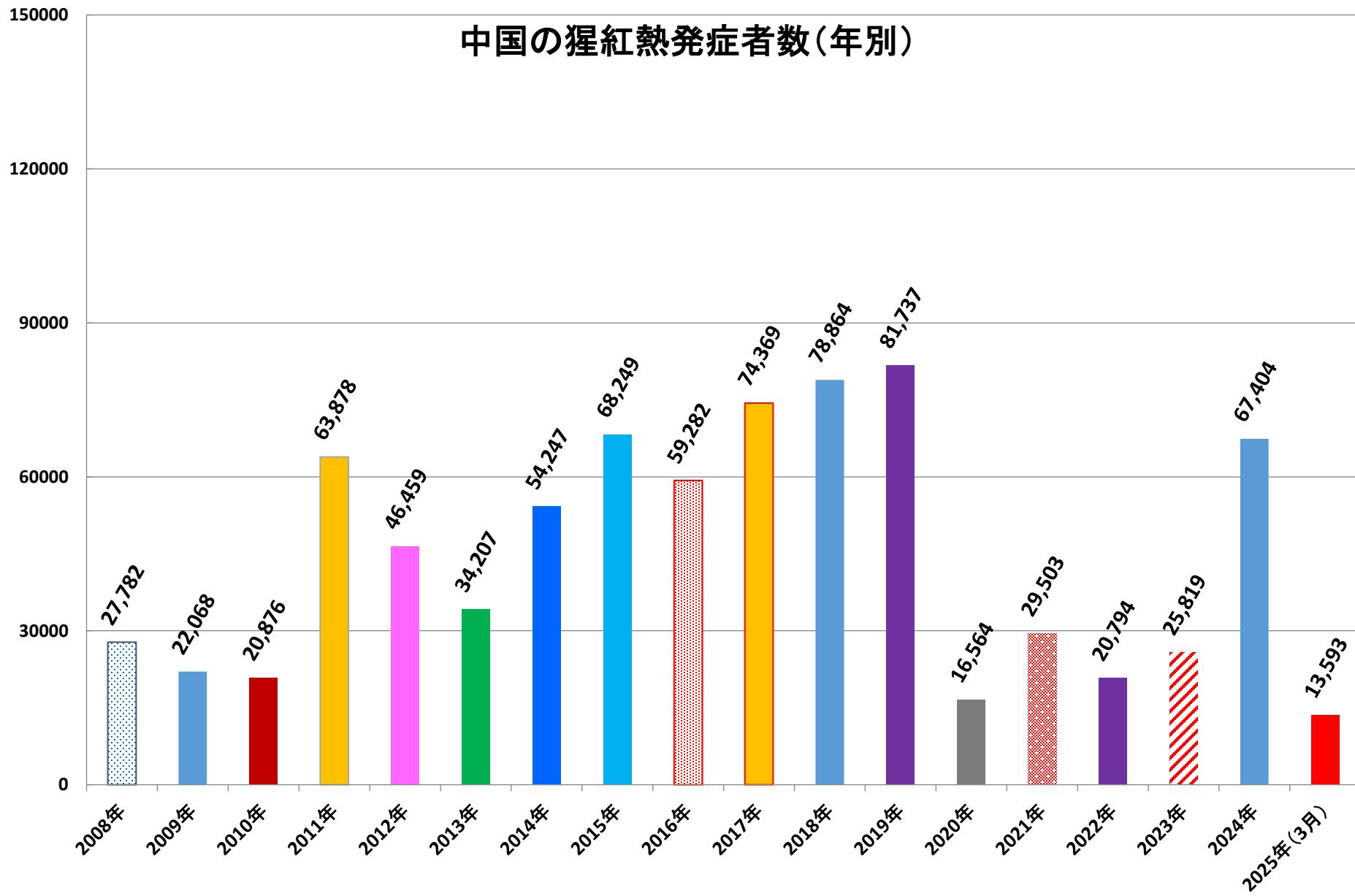


## 乙19：猩紅熱

5



# 乙19：猩紅熱



# 乙19：猩紅熱

中国の猩紅熱死者数(年別)

